



【指から考える立志式】

手のひらに注目してください。準備ができたら、次の話を読んでみましょう。

『親指1本と4本の指とがいつも対立しているが、お茶を飲もうとする時に親指と相談すれば目的は達成される。もし親指を除外したら、他の指が総がかりでも茶わんを持つことができないし、お茶を飲むにも不便である。親指は短くスタイルも悪く、節も1つ足りない。しかし、親指を除外したら何もできなくなる。親指と腹を合わせたら何でもたやすくできるのだ。親指に相談せよ。親指の徳をいただき、親指の真心に眼を開け。たとえ全世界が敵となっても親が最後の味方なのに、親指を粗末にする馬鹿者に大自然は指を持って教えている。(元明治神宮宮司 中山正光)』

今月2月7日、人生の節目として、また自分自身の成長を喜ぶ時間として、立志式に出席してもらいたいと思っています。同時に、「大人として」気付いてもらいたい大切なこともあります。それは、今の自分が存在していることへの感謝です。

数年前の東京都杉並区の成人式で、当時の区長さんが新成人に贈ったお祝いの言葉です。「成人式を迎える20歳の人たち」に、「大人として考えてほしいこと」をゆっくりと静かに語っています。

20歳になったら、2つの感謝をしなければならないと私は考えています。一つは、これまであなた方を育て、そして今、成人式を迎えたことを一番喜んでいる両親に感謝し、お礼を言ってください。手紙でもいいでしょう。

もう一つは、今はなくて、目に見えない人々への感謝です。例えば、ということで一つの例をお伝えします。それは、特攻隊員の遺書で、60数年前に、20歳を迎えたばかりの若者がご両親にあてた最後の手紙です。

「お父さん、お母さん。いま出撃の命令が来ました。自分は喜んで元気にいって参ります。どうか、これからもお健やかに。できれば自分は、もう一度お会いしてお別れを言いたかったのですが、その時間がありません。お許し下さい。鞆を置いていきます。中には、お酒と缶詰が入っています。軍から支給されたものです。一緒に食べたいと残しておいたのですが、その機会もなくなってしまいました。どうか、みなさんでお召し上がりください。それではいって参ります。お元気で。さようなら。」

成人式が終わった後で君らは美味しいものを食べ、晴れてお酒も飲むだろう。どうか乾杯するときには、心の中で「私は、あなた方を忘れません。ありがとう」と感謝の気持ちをささげてほしい。そして、この人の分まで立派に生きて、素晴らしい日本をつくってほしい。

大人になるのは君たち自身ですが、「大人へと成長させた」すべての存在に気付くようになっていくことが、本当の意味で「大人になる」ことではないでしょうか。慈しみ育ててくれた親や家族。教えてくれたり、気付かせてくれたりした先輩・後輩、地域の方々など自分に関わる全ての人々。そして見えない人々。この“見えない”人々というのは、身の回りの環境と言い換えてもいいかもしれません。(命の危機にさらされず、風雨や暑さ寒さをしのぐ場所があり、自由に生きていけるこの状況・環境は、当たり前なものではない。先人の努力や犠牲のもとで成り立っている。)

今の自分が今の自分となるためには、これまでに出会った(出会ってなくても関わった)人々の存在が欠かせません。この中の誰一人が欠けていても、今の“自分”とは違う自分が生きていてと考えていくと、感謝の気持ちが沸き上がってきませんか。

立志式から始める「大きな声でのありがとう」をすべての人へ!

【保護者のみなさまへ】

平素から連島中学校の教育活動に関しまして、多くのご協力とご理解をいただき、まことにありがとうございます。また、多くの保護者のみなさまが、ご多用中にも関わらず「立志式」にご参加を予定されていること、たいへん嬉しく思います。

年始の清々しい空気の中で、生徒たちは「立志の決意」を一生懸命に考えてきました。立志式当日は、生徒一人ひとりの「立志の決意」をご覧いただく場を準備していますので、当日を楽しみにお待ちください。

さて、お子様が「立志式」を迎えるにあたって、たいへん恐縮ではありますが、保護者のみなさまにも心に留めておいてほしいことがございますので、すこしお時間をいただければ幸いです。



大人は子どもに「夢を持って!」と言うが、子どもが夢に向かっていける未来を私たちは準備しているだろうか。不安や心配の種のほうを蒔いてはいないだろうか。次の時代を生きる子どもたちが良い時代を生きていけるように、この国の先人たちは運を貯め、運を残してきた。それは間違いない。少なくとも自分がこんな恵まれた環境の中で、こんな仕事をしていけるのは、親をはじめ、先祖が貯めてきた運を使っているとしたら考えられない。いつの時代も大人がやるべきことはそれに尽きるのではないかと思う。

そうそう、言い忘れていた。その物語によると、運を貯める生き方の基本姿勢は、いつも上機嫌でいることだそうだ。(「日本講演新聞」1月1日号の社説より)

私自身も二児の父親として、背筋の伸びる感覚でこの社説を読んでいきました。思い返せば、何もできない生まれたばかりの赤ん坊が、自らの意思で考えながら、この世界を生きている。それだけのことで成長を感じて喜ばばよいのですが、どうしても高望みをして、できない部分にだけ目を向けていたように思います。

子どもたちが希望をもって社会にはばたくことができるように、家庭と学校で、素敵な大人の生き生きとした姿を見せていきませんか。まずは手始めに、立志式当日に笑顔で「おめでとう」と言ってあげてください。



〈2月の行事予定〉 SC=スクールカウンセラー来校日

日曜	行事予定	日曜	行事予定
1 水	SC	15 水	短縮 SC 新入生説明会・オープンスクール
2 木	放課後サポート	16 木	放課後サポート
3 金	振替集金日 (私立I期入試発表)	17 金	(公立特別入試発表)
4 土		18 土	
5 日		19 日	
6 月	短縮 教育相談1 全校集会	20 月	部活動停止
7 火	⑤⑥立志式・修学旅行説明会	21 火	
8 水	教育相談2 SC (公立特別入試1日目)	22 水	SC
9 木	教育相談3 (公立特別入試2日目)	23 木	天皇誕生日
10 金	↓ 教育相談4	24 金	
11 土		25 土	
12 日		26 日	
13 月	短縮 教育相談5 学年末考査範囲発表	27 月	学年末考査1
14 火		28 火	学年末考査2

〈3月の行事予定〉 ※行事や日程の急な変更もあります。

1日: 学年末考査3・避難訓練 3日: 専門委員会 13日: 卒業証書授与式
17日: 給食最終 24日: 修了式

